

# 平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	社会福祉費事務管理事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	03	01	01	09	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課					
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	河原 智明					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	社会福祉課職員	意図	社会福祉課職員の事務を円滑にし、事務処理経費を削減し、事務の効率化を図る
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉課全般の経費 臨時職員賃金、旅費、事務用消耗品、新聞購読料、通知用封筒印刷、コピー機使用料等、社会福祉課の事務に要する経費の支出。</li> <li>・負担金の支出 更生保護法人千葉県更生保護助成協会市町村負担金の支出。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	急速な少子高齢化社会の進展により、日本の伝統的な家族の在り方や地域社会の絆のせい弱体化、社会的ひきこもりの増加、児童や高齢者への虐待、年間3万人近い自殺者問題、景気の後退による失業者の急増等、地域の福祉問題が大きく変わり、福祉行政への期待が高まり事務量が急増している。事務量の増加に伴い、事務の効率化が急務である。経費削減に努め、また臨時職員の活用により事務の効率化を進めている			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	臨時職員数	4	5	5	人	↓↓↓
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・節電やコピー使用量の削減など、経費削減に取り組んでいる ・臨時職員の活用により、事務負担の軽減を目指しているが、部分的な軽減であり、以前慢性的な残業が続き、事務負担の軽減には繋がらず職員の健康管理面に影響がある。 ・今後、事務量など精査し、必要な人数の正規職員を増員することが必要である。また、正規職員の増員に伴い臨時職員の人数も削減する必要がある。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,910,892	3,759,442	3,821,578			
事業費(b)(円)		1,235,492	1,203,442	1,322,878			
うち一般財源		1,235,492	1,203,442	1,322,878			
職員給与費(c)(円)		2,675,400	2,556,000	2,498,700			
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)		0.20	0.20	0.20			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	引き続き節電やコピー使用量の削減に取り組み経費削減を図る	③取り組みの課題	再任用職員及び臨時職員の適正な事務量の配分
②今年度(H25)に実施した取り組み	無駄な電気の消灯、紙の使用量削減に取り組んだ	④今後の改善計画	事務量を精査し、正規職員の残業時間を短縮するため適正な職員配置を考える正規職員の増員も検討していく。